

令和4年度事務事業評価表

事務事業名	しあわせサービス			担当課	福祉サービス	事業種別	自主
				担当係	福祉サービス		
開始年度	平成元年度	計画体系	2 区民同士のたすけあい活動を広げます⇒(1)地域支えあい活動の充実				
根拠法令等	しあわせサービス制度要綱						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	在宅福祉事業	サービス	有償在宅福祉サービス事業	
事務事業目的	利用会員として登録した高齢者や障害者、妊産婦等に対し、地域住民の参加と協力による有償の家事援助や簡単な介助を行い、助けあい活動の輪を広げ、安心して暮らせるまちづくりを進める。						
実施内容	<p>【事業概要】 家事援助や簡単な介助を行う協力会員を派遣する住民参加型有償家事援助サービス</p> <p>【利用会員】 ① 区民からの利用希望の申込みにより、職員が訪問調査を行い、登録の手続きを行う。 ② 職員が登録者の希望内容に沿った協力会員を探し、紹介する。 ③ 援助開始以降は、内容の変更やその他の相談等に対して職員が連絡・調整・対応を行う。</p> <p>【協力会員】 ① 協力希望者を募集し、説明会を開催。登録の手続きを行う。 ② 協力会員向けの研修会、講演会等を開催。 ③ 初回の顔合わせ時は職員が同行し、援助する内容を三者で確認する。 ④ 援助開始以降は、内容の変更やその他の相談等に、職員が連絡・調整・対応を行う。</p> <p>【その他】 ① 年会費：利用会員、協力会員ともに600円(年度単位) ② 活動謝礼及び利用料金：1時間以内700円(1時間超は30分単位で350円を加算) ③ 協力会員の交通費：活動1回あたり100円</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	H31	R2	R3
活動	利用件数・活動年数	依頼件数	件	目標	12,000	7,200	6,840
				実績	5,718	3,914	4,608
活動	利用時間・活動時間	依頼時間数	時間	目標	19,000	10,560	10,200
				実績	8,603	5,748	7,021
活動	利用会員(利用世帯)	年度末登録人数	世帯	目標	360	360	300
				実績	270	271	196
活動	協力会員	年度末登録人数	人	目標	360	200	200
				実績	163	148	140
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)			H31	R2	R3
収入	特定財源	利用料収入	7,560	4,024	4,915
		その他事業収入	300	233	204
	一般財源	(a)	16,970	17,174	16,789
支出	事業費	(b)	8,530	5,897	6,718
	職員人件費	(c)	16,300	15,534	15,190
		業務量(人)	2.00	2.00	2.00
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	0	0	0
		退職給与引当	0	0	0
			0	0	0
		(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)			24,830	21,431	21,908

単位当たりコスト(円)	H31	R2	R3
単位の定義	活動件数		
実績数値 (g)	5,718	3,914	4,608
単位あたり社協単コスト (a/g)	2,968	4,388	3,643
単位あたりコスト (f/g)	4,342	5,475	4,754

実施状況に対する評価	<p>○ 利用会員、協力会員ともに高齢者が多いためか、年度更新時の退会者が多い。さらに、コロナウイルス感染症の拡大がここ数年の退会者数増に大きな影響を与えていると考えられる。ただし、地道なPR活動によって両会員ともに多くはないが、毎月若干名の新規会員の登録が続いている。</p> <p>説明会のみでの登録ではなく、いつでもどこでも登録できるようにしている効果は出ている。</p> <p>○ コロナの影響でここ数年協力会員向けの研修会や交流会が開催できていない。常に一人で活動している協力会員にとっては他の会員と交流することは貴重な時間となっていたため、早期の再開が望まれる。</p> <p>○ 近年、利用希望者の依頼内容が複雑であったり、複数の課題がある世帯など、対応が難しいケースが増えている。また、二世帯住宅の依頼等、家族関係の希薄さを象徴する依頼も多く、他機関との連携が重要である。</p> <p>○ 本事業は、公的サービスの対象とならない方々の貴重なサービスであるとともに、協力会員にとっては、活動を通して本人の生きがいや介護予防にもつながっており、一定の効果をあげている。</p>
今後の方向性【改善】	<p>○ 会員増に向けて 他事業との連携や小地域福祉活動などを活用して、直接区民にPRする機会を多く設けるなど、より区民に密接した周知を行っていく。また、引き続き説明会に限らず、窓口や自宅などでの登録も可とするともに、登録方法の煩雑さ、面倒さをできるだけ解消できるよう、新たな登録方法などを検討していく。</p> <p>○ 登録したばかりの協力会員には早い段階で積極的に活動を紹介していく。</p> <p>○ 短時間や簡易的なもの、単発の依頼については、新たなサービス設計や生活支援ボランティア事業との統合も視野に入れながら検討していく。</p> <p>○ 現在の年会費、謝礼、利用料については、長い期間変更がない。時代に合った、適当な額かどうか、公平性はあるかどうかの検討を続けていく。</p>